

会

Vol.56
2023.1

報

KOCHIKENTOCHIKAOKUCHOUSASHIKAI



高知県土地家屋調査士会

CONTENTS

新年のご挨拶	会長 田邊 満夫	1
新年のご挨拶	高知地方法務局長 高丸 雅幸	2
新年のご挨拶	公益社団法人高知県公共嘱託登記土地家屋調査士協会理事長 泉 清博	4
新年のご挨拶	高知県土地家屋調査士政治連盟会長 谷相 恒行	5
令和4年度表彰		6
新入会員挨拶	富永 武志/長崎 泰之/三田 旺璃	7
各部からの今年の抱負		9
	総務部/社会事業部/財務部/業務部/研修部/広報部/境界問題ADRセンターこうち	
地籍調査・14条地図作成作業の報告		14
地籍調査に参加して	富永 武志	19
うさぎ年生まれのアンケート		20
特集①	高知県立牧野植物園の取り組みと今後の展開	23
	公益財団法人高知県牧野記念財団理事長 高知県立牧野植物園長 川原 信夫	
特集②	よさこいあれこれ 竹村 克彦	26
特集③	高知の人気YouTuberが土地家屋調査士になるってよ!?	29
特集④	高知県立宿毛工業高等学校の出前授業	31
特集⑤	お宝写真館	34
高知県土地家屋調査士会幡多支部ゴルフ大会	岡村 悟	37
行事日程/事務局だより		38



表紙の写真について テーマは「アナログあつてのデジタル」

撮影場所は鷲尾山頂で高知市市街地南部を東西に走る山脈「南嶺」の一峰です。

位置は筆山頂上の公園から皿ヶ峰を通り土佐塾中高校の下を通過して鷲尾山山頂まで徒歩で約2時間の場所であり、遊歩道は結構きつい調査士には余裕のハイキングコースとなっており、山頂からは南側に浦戸湾や春野平野の景観が一望できる位置にあります。

撮影当日はGNSS測機・カメラ・昼食・水等々を持っていたので、最短距離である鷲尾山トンネル横の登山口から登りましたが、荷物が重く山頂までは1時間も掛かってしまいました。撮影では雄大な景観(アナログ)に立つGNSS機器(デジタル)、そして鳥と人(アナログ)を撮りたかったので、昼食を取りながら4時間(山頂には2日行き計8時間)粘りましたが鳥はカメラの画角に入ってはくれませんでした、大勢のハイキングの方からGNSS機器について聞かれて調査士を宣伝させていただきました。

(田邊満夫)

新年のご挨拶

会長 田邊 満夫



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

早いもので私の会長職二期目も残り僅かとなりました。何とか無事にここまで務められたのは会員皆様のおかげであり、この場をお借りして心より感謝申し上げますとともに、引き続き土地家屋調査士が筆界の専門家として、不動産に係る権利の明確化に寄与できるよう執行部一丸となり運営になお一層努力する所存ですので、皆様の更なるご指導ご鞭撻をお願いいたします。

さて、我々土地家屋調査士業務を取り巻く環境は今大きく変化しています。

令和元年の「司法書士法及び土地家屋調査士法の一部を改正する法律」の施行に伴い、令和2年に土地家屋調査士が業務を行う上で、全国共通の規程が必要であるとの主旨から、「土地家屋調査士職務規程」が設置されました。令和3年には全ての土地家屋調査士が業務を行う上で厳守すべきものとして、「土地家屋調査士業務取扱要領」が改正されました。また、去年は法務省より「筆界確認情報の取扱いに関する指針」も発出され、それを受け各県において「不動産の表示に関する登記事務取扱要領」の改正も行われました。その後「土地家屋調査士業務取扱要領」の規定に基づく「登記基準点測量マニュアル」、次いで「ネットワーク型RTK法による単点観測法に基づき行う登記多角点測量マニュアル」が作成されております。

特にこのネットワーク型RTK法による単点観測法に基づき行う登記多角点測量マニュアルでは、衛星の電波を受信し、単独で公共座標である世界測地系で新たな基準点を設けることができる観測方法と規定されたことにより、測量方法の選択肢がより広がったことで、既存の公共座標を有する市街地だけでなくあらゆる地域で公共座標(世界測地系)を使用して地積測量図を作成することが可能となりました。これにより工事や災害によって亡失した際の境界点の復元を簡易にし、災害復興等に非常に有益であると考えております。会員の皆様には今後とも世界測地系を使用した地積測量図の作成に積極的に取り組んでいただくようお願い申し上げます。

また、民法等では、所有者不明土地建物等の発生予防と利用の円滑化の両面から、相続登記の義務化など不動産登記制度の見直しが行われました。少子高齢化も進み、地元で地権者が居ない土地も多数見受けられます。今後、土地家屋調査士は個人財産の管理などにも積極的に関わる事になると思われます。

不動産の表示に関する登記及び土地の筆界を明らかにする業務の専門家として、我々の知見や経験を活かせる舞台は広がってきております。高知県土地家屋調査士会としては、他士業や行政との連携も模索し、国民の信頼に応えるため積極的に行動してまいりますのでご意見をお聞かせ戴ければ幸いです。

最後に、皆様方の益々のご発展をお祈りするとともに、引き続き高知県土地家屋調査士会の活動へのご理解ご支援を賜りますよう、本年もよろしくようお願い申し上げます。



高知県土地家屋調査士会会員の皆様には、お元気で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は、登記行政の適正かつ円滑な運営につきまして、深い御理解と格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、現在、法務局では相続登記の促進、所有者不明土地等対策の推進、筆界特定制度の利用拡大、オンライン申請の利用促進など、社会の変化や多様なニーズに的確に対応するための施策や事業に積極的に取り組んでいるところであります。

まず、所有者不明土地問題解消方策の一つとして、「表題部所有者不明土地の登記及び管理の適正化に関する法律」が令和元年5月17日に成立し、表題部所有者不明土地の解消事業を行っているところ、昨年6月7日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022」においても「所有者不明土地等対策の推進に関する基本方針等に基づく所有者不明土地等対策を進める。」とされるなど、政府の最重要施策の一つとして位置付けられています。会員の皆様には、所有者等探索委員として、豊富な経験と専門的知見に基づき、多大な御支援をいただいているところ、引き続き、円滑な事業の実施について、御協力いただきますようお願い申し上げます。

また、令和3年4月21日に「民法等の一部を改正する法律」及び「相続等により取得した土地所有権の国庫への帰属に関する法律」が成立し、相続土地国庫帰属制度が本年4月27日から施行されるとともに、相続登記の申請義務化が令和6年4月1日から施行されるなど、新たな制度が始まります。会員の皆様には、積極的に関わっていただきますようお願い申し上げます。

次に、筆界特定制度につきましては、平成18年の制度発足から16年が経過し、さらに、令和2年9月には、地籍調査の実施主体である地方公共団体が筆界特定申請を可能とする不動産登記法の一部改正が施行されるなど、裁判手続によることなく筆界をめぐる紛争を早期に解決する手段として定着しているところです。会員の皆様には、筆界調査委員会を中心に制度の円滑な運営に御尽力いただいておりますところ、土地の筆界をめぐる紛争の解決を図るためには、本制度と土地家屋調査士会ADRの連携が重要かつ有効であると考えますので、引き続き貴会及び会員の皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

また、昨年4月14日に筆界確認情報の取扱いに係る民事局長通達が発出されるとともに、当該取扱いに係る指針が定められたことを受け、当局における「不動産の表示に関する登記事務処理要領」を改正し、昨年10月1日から施行したところです。所有者不明土地等対策が社会問題となっている中、土地取引等の前提としてなされることが多い筆界関係登記を円滑に進めることは、経済活動の活性化につながるものと考えますので、会員の皆様には、その適正な運用につき御協力をいただきますようお願い申し上げます。

最後に、登記申請のオンライン利用の促進につきましては、オンライン利用の利便性向上に向けた制度面やシステムの改善を実施し、行政手続の簡素化・効率化に取り組んでいるところであ

りますが、令和元年11月11日から、表示に関する登記の申請の代理を業とする土地家屋調査士等が代理人として電子申請の方法により表示に関する登記の申請又は嘱託をする場合において、不動産登記令第13条第1項に基づき添付情報が提供されたときには、原則として、添付情報の基となった書面の提示を求めない取扱い、いわゆる「調査士報告方式」が開始されております。会員の皆様には、これまで以上にオンライン利用の促進につき御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年の初めに当たりまして、お願いばかりが先行いたしました。表示登記制度の充実・強化のためには、私ども法務局職員も一丸となって努力していく所存でありますので、昨年にもまして、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、高知県土地家屋調査士会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げて、新年の御挨拶とさせていただきます。





明けましておめでとうございます。

今年は所有者不明土地問題の解消に向けて令和3年に改正された民法等の一部や、新たに創設された相続土地国庫帰属法が4月から施行される年にあたり、不動産登記制度が大きく変わる年となります。

この民法改正を、今まで所有者不明土地問題で分筆できなかった嘱託登記事件に、うまく利用して解決策を役所に提案できるなら、今後も協会は官公署に信頼される組織であり続けるだろうと思います。

例えば地裁の決定を得て所在等不明共有者（氏名等不特定を含む）に対し不動産の持分を申立人が取得する旨の公告を行い、3か月以上の異議なく経過すれば、申立人が所在等不明共有者の持分を取得することができます。（新民法262条の2。この場合、地裁の決定した時価相当額を供託する事となる。）

また、利害関係人（ここでは公共事業の実施者。）の申立により、裁判所から選任された当該土地の管理人が裁判所の許可を得て財産処分することで解消する方法が考えられます。

この様に、官公署から発注される中に所有者不明土地が存在する場合も、我々はその解決に向けたプロデューサーとしての役割を果たさなければなりません。

今まで法の縛りによってできなかったものを可能とする好機と捉え、解決策を提案して発注官公署の信頼を得ることで、協会がさらなる発展することを今年の目標にしていきたいと思うものです。

また、コロナ禍により地籍調査や登記所備付地図作成作業の現地説明会の開催や立ち会いが困難となり、地図作成作業は今後もしんどい状況が予想されますが、平成28年度の地図整備関係予算34億円に対し、令和4年度は44億円と大幅な増加傾向にあり、全国52ヶ所の推定経済効果は7倍（約304億円）あったと法務省のホームページに記載されている様に、今後も成長戦略の礎として重点的に整備されていくとの事です。

時代の変化に対応しながら、社員が安心して地図作成に参画できるようにしていきたいと思しますので、社員の皆様、今年もよろしくお願ひいたします。



明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

政治連盟とは、各業界団体がその職責を全うするために必要な政策要望を、政治活動を通して政府や自治体に求めるために結成された政治団体であります。

また、土地家屋調査士制度にとって不利益となる法制定、法改正を阻止することも必要欠くことのできないものです。さらに政策要望を、政治活動を通して政府や自治体に求める事も必要なのです。資格者制度といえども、政治の理解なくしては制度の充実・発展は困難であります。

政治連盟は、入札制度に登記関連業務が明記されたこと、完全オンライン登記申請の実現も政治連盟と連合会が協働した成果です。これからも土地家屋調査士の皆様のため、その専門性を発揮し活躍できるようにするため、会員皆様のご理解とご協力を糧として、政治への働きかけを全調政連とともに進めてまいります。

最後になりましたが、本年も皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



令和4年度表彰受賞者

受賞おめでとうございます

●法務大臣表彰

谷 相 恒 行 (高知支部)

●高松法務局長表彰

◎表彰規定第2条第1号被表彰者(業務歴)

岡 村 育 弥 (高知支部)

●高知地方法務局長表彰

◎表彰規程第2条第1号被表彰者(業務歴)

片 岡 靖 徳 (高知支部)

●高知県土地家屋調査士会長表彰

◎表彰規程第3条第1号被表彰者(業務歴)

小 川 龍 明 (高知支部)

◎表彰規程第3条第2号被表彰者(役員歴)

石 村 健 一 (高知支部)

この度の受賞、心よりお祝い申し上げます。

新入会員挨拶

新入会員あいさつ

富 永 武 志



令和4年1月に高知県土地家屋調査士会に入会させていただきました 富永武志 と申します。

ごくごく簡単な自己紹介になります… 四万十市出身・昭和50年3月生の47歳・妻と息子(高3…つい最近の事ですが、希望する大学に合格する事ができホッとしております。)の三人家族・一番の趣味は野球観戦で、東京ドーム・甲子園・京セラ・ハマスタ等、様々な球場に出没中です(笑)。

さて、私が土地家屋調査士を目指す事となった理由についてですが、今年3月まで勤めていた会社の経営母体が4年程前に別会社へ移る事となり、180度方向転換した経営方針にこれから先の将来(未来)に不安を覚えた事が一つの大きなキッカケとなりました。

高校卒業～専門学校(建築学科)卒業後、設計事務所・ハウスメーカー・地場の工務店等での経験を土地家屋調査士の業務とからめて活かす事【現況(確定)測量～(分筆)～プランニング～確認申請～完了検査～建物表題登記の一連の作業】が出来ないだろうかという思いを胸に秘めた中での挑戦開始となりましたが、仕事をしながらの勉強期間は、正直ツライな～という思いも少なからずあった中で、非常に楽しく充実した日々でもありました。

幸いにも運良く令和2年度の試験に合格する事が出来まして、その後～複数の調査士の先生方にお話を聞かせて頂きつつ準備を進めていき～令和4年3月に12年程勤めた会社を退職～4月1日に独立・開業する事と相成りました。(お忙しい中、貴重なお話を聞かせて頂いた先生方、その節は大変お世話になりました。)

最後に、少々雑な自己紹介文になりましたが、会員の諸先輩方・事務局の方々、こんな未熟オブ未熟の私ですが、頑張っていこう!!という気持ちだけは強く持っております。今後共ご指導を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

新入会員あいさつ

長 崎 泰 之



令和4年2月20日に高知県土地家屋調査士会に入会させていただきました長崎泰之と申します。

高知工業高等学校を卒業し、約10年、建設業で公共工事を中心に道路工事や砂防ダムの現場監督として働いてまいりましたが、公共工事の発注が激減し、今までの経験が生きる職種・資格を考えた時に、土地家屋調査士のことを知りました。

独学で勉強を始め、試験に合格でき、調査士事務所に補助者として8年勤めたのですが、一度測量から離れる決断をし、5年間、電気工事の仕事を経験しました。

電柱に昇る作業や、高所作業車の運転にも慣れてきたところでしたが、電気工事でトンネル照明の電気ケーブルを収めるマンホール設置作業で位置出しのため測量するなど、測量から離れられない人生だと勝手に思っていたところに、調査士事務所の求人があり、三浦博之先生にお世話になることになりました。2年間、勤めてまいりましたが、三浦先生の後押しもあり、今回の土地家屋調査士登録となりました。

公共工事の現場作業では、最初に基準点の確認をし、仕事の流れを考えて基準点を新設していくのですが、この作業を怠ると道路やダム completion に影響を及ぼすことにもなり、最初の測量が重要であり、この時の経験を活かして尽力してまいります。

まだ至らない点が多々ありますが、精一杯努力いたしますので、皆様どうぞご指導のほどよろしく申し上げます。

新入会員あいさつ

三田 旺 璃



令和4年3月10日に高知県土地家屋調査士会に入会させて頂きました三田旺璃と申します。

私は、高校を卒業し東京の大学を経て高知に帰ってきました。高校卒業時には、将来はスポーツ関係の仕事をしたかと思っておりましたが、自分の人生を考えていく上で将来が不安になり、両親からの勧めもあって大学3年から調査士試験の勉強を始めました。始めたは良いもののなかなか身には入らず、時だけが過ぎていきました。卒業と同時に高知に帰り、父の補助者をしながら勉強に励み、二度目の試験で無事合格することができました。正直合格すると思っていなかったもので、合格発表の日は今でも忘れられません。測量業務だけしかやらせず、勉強に集中できる環境を作ってくれた父には感謝の気持ちでいっぱいです。

前述のとおり、私は補助者を一年もしておらず実務経験が全くありませんでした。当初は、右も左もわからず父に怒られながらの毎日でしたが、現在は少しずつではありますができることが増えてきています。また、高知市の地籍調査業務にも参加させて頂き、諸先輩方にご指導頂きながら、色々なことを経験し勉強させて頂いております。

私が調査士会の中で唯一の20代ということで、若いパワーを先輩方に還元していきたいと思っております。まだまだ未熟者ではありますが、初心を忘れず責任感を持って日々精進していきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

各部からの今年の抱負

総務部 社会事業部 財務部 業務部 研修部 広報部
境界問題ADRセンターこうち

総務部から

総務部長 井上 拓也

新年明けましておめでとうございます。

マスクの着用、手指のアルコール消毒、室内の換気といったコロナと共に過ごす生活習慣が当たり前になり感染者数も減少し収束に向かうかと思えば新たな派生型が出現し、再び感染者が増加するといった落ち着いた状況が続いています。

と、ここまで書いて去年の会報を読むと、まったく同じことを書いていました。文才の無さと一年前と変わらないコロナ禍の状況に驚きました。

昨年はずいぶん私もコロナに感染し、激しい喉の痛みと高熱に苦しみました。皆様もくれぐれもお気を付けください。

さて、知り合いから頼まれて個人的に1年に2回、職業訓練所で数日間測量の基礎技術の授業を行っています。求職者向けの職業訓練でCAD図面の作成、木造住宅の構造知識、模擬家屋の施行などあり、その実習のひとつとして私は実際に測量機器を使用して、5、6人のグループで簡単な測量を行い、それを図面化するまでを担当しています。受講者は老若男女。

依頼の際その知人からは測量技術より土地家屋調査士の業務について説明して欲しいと言われており、そちらにも重点をおいて話しています。全国の土地家屋調査士人口、調査士業界の実情や高知県内の状況を話し、受験

生の減少、若い人材が少ないこと。特に女性の調査士は貴重である等々ですが、実際にどういう仕事をしているのかも話します。収入についても少々。

測量実習や話を聞いておもしろそうだ興味を示してくれるのは、意外に若い女性が多いのです。もちろんさまざまな事に興味を持つ年代でもあるのですが、調査士業務は内業と外業があることや現場先での食事などにも楽しさを感じるようです。CADを使う細かい作業も向いているのかもしれない。授業の後、調査士事務所の求人をネットで検索し、試験内容についても詳しく調べた方もいました。他の士業に比べて試験範囲や測量試験の免除方法なども有利だと感じられるようです。授業では日調連制作のYouTubeや当会で制作した「ちやがまん」によるYouTube動画も観てもらいました。

私のこの少ない経験では頼りないでしょうが、個人的に土地家屋調査士人口を増やすための今後のターゲットは若い女性であると確信しています。建築、土木業界にも今若い女性が増えていると聞きます。調査士業界でもそうした女性への対応を真剣に考える時期ではないでしょうか。具体的には？かわいい色のTSを販売するとか？おしゃれな作業服とか、日焼けしないための対策とか、このあたりは、現在活躍している女性調査士諸氏に実際に困っている内容をしっかりとヒアリングして対処する方策を考えれば、女性の土地家屋調査士を目指す人たちが増えるのではないかと思います。若い女性土地家屋調査士が増えれば、

釣られて(失礼)、男性の調査士も増えるのではないかと、新たな年を迎え、酔った頭でふと考えるのであります。

本年も高知県土地家屋調査士会をよろしくお願い申し上げます。

皆様にとって今年も良い年になりますように。

社会事業部から

社会事業部 前田昌利

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、社会事業部の今年の重点3項目といたしまして「空家等対策の推進に関する特別措置法への対応」、「地図の作成及び地図等への対応」、「筆界特定制度と土地家屋調査士ADRとの連携の継続」を考えております。

1. 空家等対策特別措置法への対応としましては、本年度も仁淀川町空家対策協議会に参加致しました。来年度以降も引き続き参加させていただきます。また、機会があればその他の空家対策協議会にも参加します。

2. 地図の作成及び地図等への対応につきましては、高知県公共嘱託登記土地家屋調査士協会と連携を密にします。

3. 筆界特定制度と土地家屋調査士ADRとの連携につきましては、高知地方法務局との協議会を継続して行い、情報共有に努めます。簡単ではございますが、以上が社会事業部の今年の活動計画になります。

私事と致しましては、昨年目標であったゴルフのコースデビューは果たせましたので、今年は、3回コースに行くことを目標にしたいと思っております。コースデビューを果たしたといえども、ただただ周りの人に気を使いながら草原を駆け抜けていただけで、ゴルフをしたという感じが全くしなかったもので、今年はゴルフを感じてみたいと思っております。

極寒の候ではございますが、会員の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

財務部から

財務部長 三田哲矢

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、日頃から会務運営にご協力頂き、お礼を申し上げます。

財務部の大きな事業の柱として、まず財政の健全化と執行の充実があります。財政面においては、昨年度から比例会費の廃止と新定額会費の運用が開始されました。会員の皆様には、事務所運営に少なからず影響があった事と存じますが、財務部としても会員の皆様から預かった会費を、より適正な会計処理と執行を心掛け業務にあたっています。西森税理士の助言を受け、昨年6月には事業復活支援金の申請の交付を受けることができました。今後は、会務運営や会員の事務所運営に寄与できるよう、積極的な情報収集と会員への情報発信にも努めてまいります。

もう一方の柱である親睦事業の実施については、令和3年度に引き続き令和4年度も、県内のコロナ過の拡大を受け感染防止の観点から中止と、残念な結果となりました。感染状況の波が大きく、数ヶ月先の親睦事業開催に向け、状況判断が難しいところです。来年度は、開催時期の変更や、親睦事業の内容等について、見直しをしても良いのではないかと考えています。

ところで、昨年11月の中国・四国ブロック協議会合同研修会が開催されました。1日目の講師は広島会の顧問弁護士田中先生が、「調査士業務に関連する法律問題」と題し、非常に内容の濃い話を拝聴しました。主題からずれた話ですが、余談で聞いた田中先生の事務

所移籍の話が、心に残っています。先生の移籍された事務所が、依頼者との面談がzoomでのオンラインであったり、事務所内連絡がslackというチームコミュニケーションツールを使ったり等々、IT技術をフル活用した運営だとの事でした。仕事のやり方が全く違う事に、当初かなり苦労されたとの事でしたが、弁護士業務自体がかわりはしない事で、何とか乗り越えられたと笑っておられました。この話に、私は非常に身につまされた思いでした。と言うのも、私事ですが長年使ってきたトータルステーションを、昨年末に入れ替えを行いました。新技術を導入した器械と一緒に導入したのですが、測量精度や時間は確実に向上するものの、ソフトは全く操作方法が違い、従来のトータルステーションの考え方がまるで正反対な程違っているのです。今までは器械を使っていたのが、今は器械に使われている気分で、サポートの電話に救いを求めて言われた言葉が、「従来の器械に対する考え方を変えてみてください」でした。なんとか救いは、やっている測量と成果は従来と変わらずと言ったところです。

また先の研修会の2日目の講師として広島会の水津先生が、ローコストGNSS測量器機を使った測量について講義をおこなって頂きました。従来3桁オーバーのGNSS測量器機の導入コストが、僅か10万から20万円の器機で、ほぼ同じ成果を得られるとの事で、広島会では積極的な取り組みとして、会員への情報提供をしているとの事です。昨年連合会も、ネットワーク型RTK法による単点観測法に基づき行う登記多角点測量マニュアルを作成しました。つまりローコストで世界測地系の地積測量図の作成が可能と言う事です。

業務は変わらずとも、その手順や方法は、新しい技術とともに如何に自分自身がアップデート出来るかが、肝になると言う事でしょうか。それが一番難しく、もどかしい点なのですが、今年は、新しい器械を使いこなし、

ローコストGNSS測量器機にも挑戦してみたいところです。

トライ&チャレンジを忘れず頑張ってください。今後ともよろしくお願いいたします。

業務部から

業務部長 佐野巧也

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、日頃の調査士会の会務運営等の活動に、ご理解ご協力いただきまして誠にありがとうございます。

皆様のご期待にお応えできるよう精進して参りたいと思っておりますので、本年もご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

事業計画は、次のとおりです。

- ①土地家屋調査士業務に関する指導及び連絡に関する事項
- ②筆界特定制度の研究と対応
- ③登記基準点の研究と対応
- ④表示登記合同研究会の実施

昨年10月に一部改正となりました、「不動産の表示に関する登記事務取扱要領」ですが、今年度内にもう一度改正する予定となっております。改正がありましたら会員皆様に通知いたします。それを踏まえて高知地方法務局と④「表示登記合同研究会の実施」を検討する予定となっております。

②「筆界特定制度の研究と対応」については実施に至っておりません。③「登記基準点の研究と対応」につきましては、現在場所と設置方法及び観測方法について検討中です。できるだけ会員皆様のお役に立てるよう努力してまいります。

その他、法務局のみならず、調査士業務に係る各官公署等とも何か疑問等あれば打ち合わせ等行ってまいりたいと思っておりますので、会員皆様からの情報の提供及び業務部の活動にご理解ご協力の程宜しくお願い致します。

最後になりますが、今年が会員皆様及びご家族、その関係者の方々にとって素晴らしい1年となるよう祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。本年も宜しくお願ひ致します。

研修部から

研修部長 村山修一

あけましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナの第6波、第7派による感染拡大と、ロシアによるウクライナ侵攻を起因とするエネルギー危機に加え世界的な食料不足などによる諸物価の高騰に世界中が揺り動かされた1年でした。

こうした中、当会におきましては新型コロナウイルスの感染も比較的落ち着き、行動制限も緩和されたことから、見切り発車的なところもありましたが令和2年度、3年度に開催を見合わせたてきた研修会についてコロナ対策を十分に備えて従来の活動を行ってまいりました。

連合会が主催する年次研修も2年目を迎え、昨年9月に開催できる運びとなりました。全国的にも各会で開催方法を模索しながら進めていることを聞いておりますが、高知会会員全員が年次研修を恙なく終了できるよう研修部一同尽力いたしますので、会員の皆様には積極的に参加いただきますようお願いいたします。

一方、「令和4年度土地家屋調査士新人研修」は、令和4年6月26日(日)～6月28日(火)まで茨城県つくば市で開催され、当会からも2名が参加しております。研修部としても受講者の方の開業が少しでも速やかに行えるよう側面から協力させていただきたいと考えております。

更に令和4年度「第17回土地家屋調査士特

別研修」では、当会から会員3名が受講し、昨年9月3日の考査を無事終了しております。今回の特別研修も昨年に続きコロナ禍による会場分散で受講者のいる各調査士会が基礎研修の会場となったことや当会の参加者が3名であったことから、グループ研修も当会において実施しております。

当会における会員数に対するADR認定調査士の比率は、全国的にも上位に位置し更にその数を着実に伸ばしております。まもなく第18回特別研修の受講者の案内が始まりますが、自身のスキルを磨くため積極的に参加していただくよう、お手伝いさせていただくつもりです。

その他、令和4年8月3日(水)～8月9日(火)まで、高知弁護士会からの依頼で司法修習生の業務修習を4年連続で実施させていただきました。実施に当たりましては快く講師を受けていただいた会員の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。

実務におきましても、令和4年度は「不動産の表示に関する登記事務取扱要領の改訂」が進められている中、この改定に速やかに対処して行くために高知地方法務局担当者との協議に加え四国ブロックや全国的な取り組みの情報も考慮しつつ、適宜研修会を開催するなど取り組んでいるところであります。

最後になりますが、今年も更なる研修活動の質の向上に対して部員一同努めて参りますので、皆様のより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

広報部から

広報部長 岡林友紀

新年あけましておめでとうございます。皆様には謹んでお慶び申し上げます。また、平素より広報の活動に対しましてご理解ご協力いただき感謝申し上げます。

最後となりましたが、これからの土地家屋調査士業界の益々の発展と皆様のご健康を祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。

境界問題ADRセンターこうち

センター長 谷相恒行

明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、『境界問題ADRセンターこうち』の活動にご理解・ご協力を頂き感謝申し上げます。

さて昨年もコロナ禍という状況下でありましたが、当センターへの事前相談は5件であり、いずれも解決手続申込みはありませんでした。また筆界特定や他の機関へ回付した事案も回付を受けた事案も無い1年でありました。紛争解決手続申込みが減少していることは良い傾向であると思っておりますが、今後のセンター運営の充実のため会員研修並びに広報活動において本会と協働し土地境界紛争解決のため取り組んでまいります。

一方で、会員各位が認定土地家屋調査士の資格を得たということで紛争性の可能性があった事案も資格取得のスキルにより一般事件を扱うなかで適宜解決していったことも件数の減少に含まれている要因のひとつではなかろうかと勝手ながら思ったものですが、どうでしょうか。認定土地家屋調査士を取得していったなかで境界紛争の事前防止及び解決策の思考向上が培われていっているのではないかと・・・。

おわりに、本年も皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

2022年の当会広報活動としましては、1月に高知県立宿毛工業高等学校建設科の生徒さんを対象として、土地家屋調査士という職業紹介の出前授業を行いました。(講師を引き受けてくださった芝亮省会員ありがとうございます!) 出前授業の様子や授業を受けられた生徒さんからのアンケート結果を特集記事に掲載しております。

3月には大豊町教育施設の建物表題登記を記念寄付事業として田邊会長が行い、大豊町から感謝状をいただき、大豊町の広報誌にも掲載されました。

また、高知を拠点として活躍されている人気若手 YouTuber 「ちやがまん」の皆様にご協力いただきまして、YouTube動画を制作いただき、10月から動画配信が開始しております。こちらにも詳しい内容を特集記事に掲載しております。

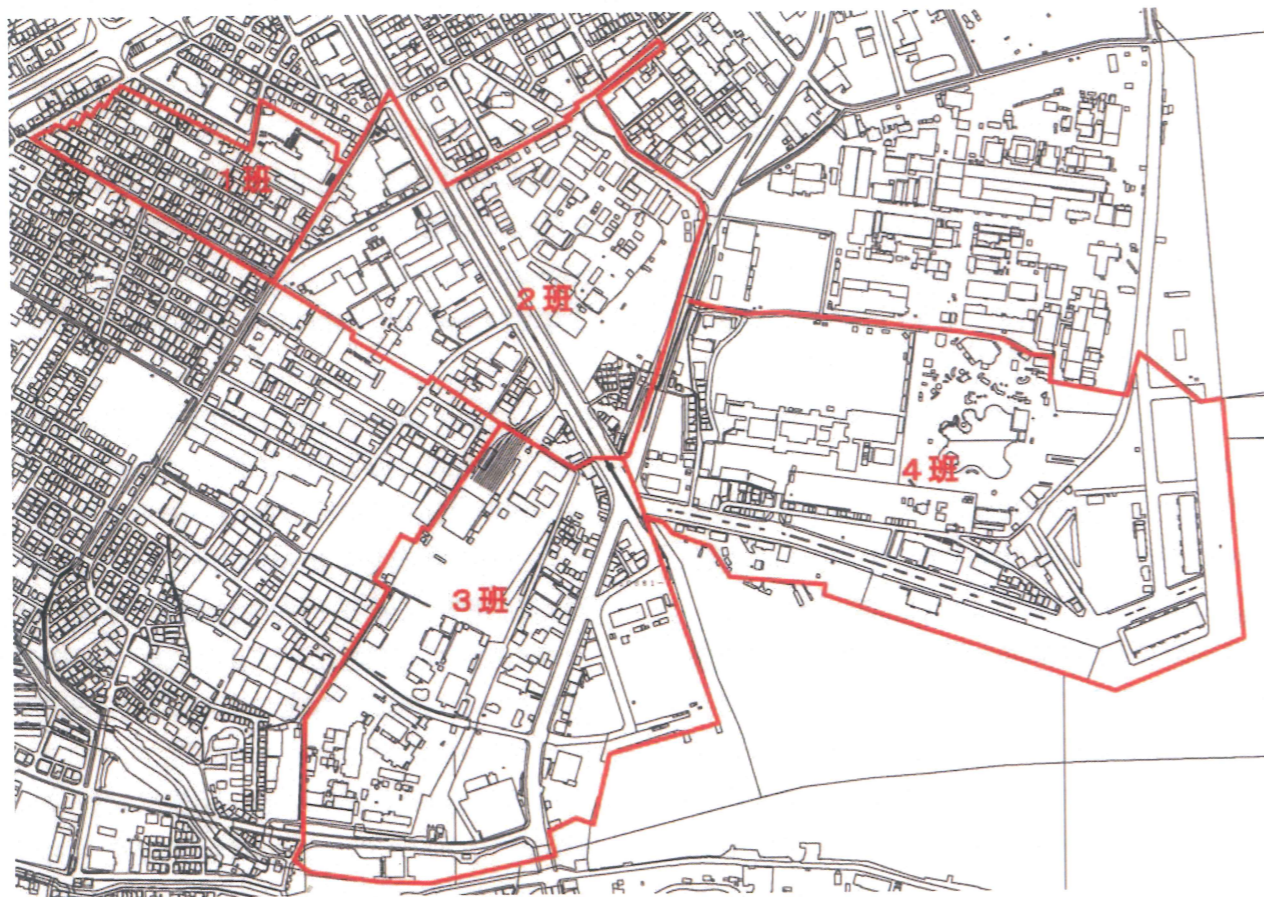
2023年前期のNHK連続テレビ小説「らんまん」は高知県高岡郡佐川町出身の植物学者牧野富太郎博士がモデルであることを記念しまして、特集記事に高知県立牧野植物園の園長川原信夫様からご寄稿もいただきました。(ご尽力いただいた尾崎真紀会員ありがとうございます!) また、高知が誇るよさこい祭りに毎年携わっていらっしゃる高知会の竹村克彦会員にもよさこい祭りのご紹介記事を特集記事としてご執筆いただきました。毎年、会報は多くの方々のご協力で成り立っており、改めてご協力いただいた皆様、そして読んでいただいている皆様に感謝申し上げます。

2023年の新たな外部広報としましては、日本土地家屋調査士会連合会が70周年記念事業の一つとして制作していた小冊子「マンガでわかる土地家屋調査士成長物語」を再購入し、高知県内の学校への配布を行ったり、新たなYouTube動画制作もあるかもしれません。

ウイズコロナへと変化した社会ではありますが、新しい年は高知も日本もより元気になりますように。

法第14条地図作成作業、地籍調査作業の報告 | 広報部

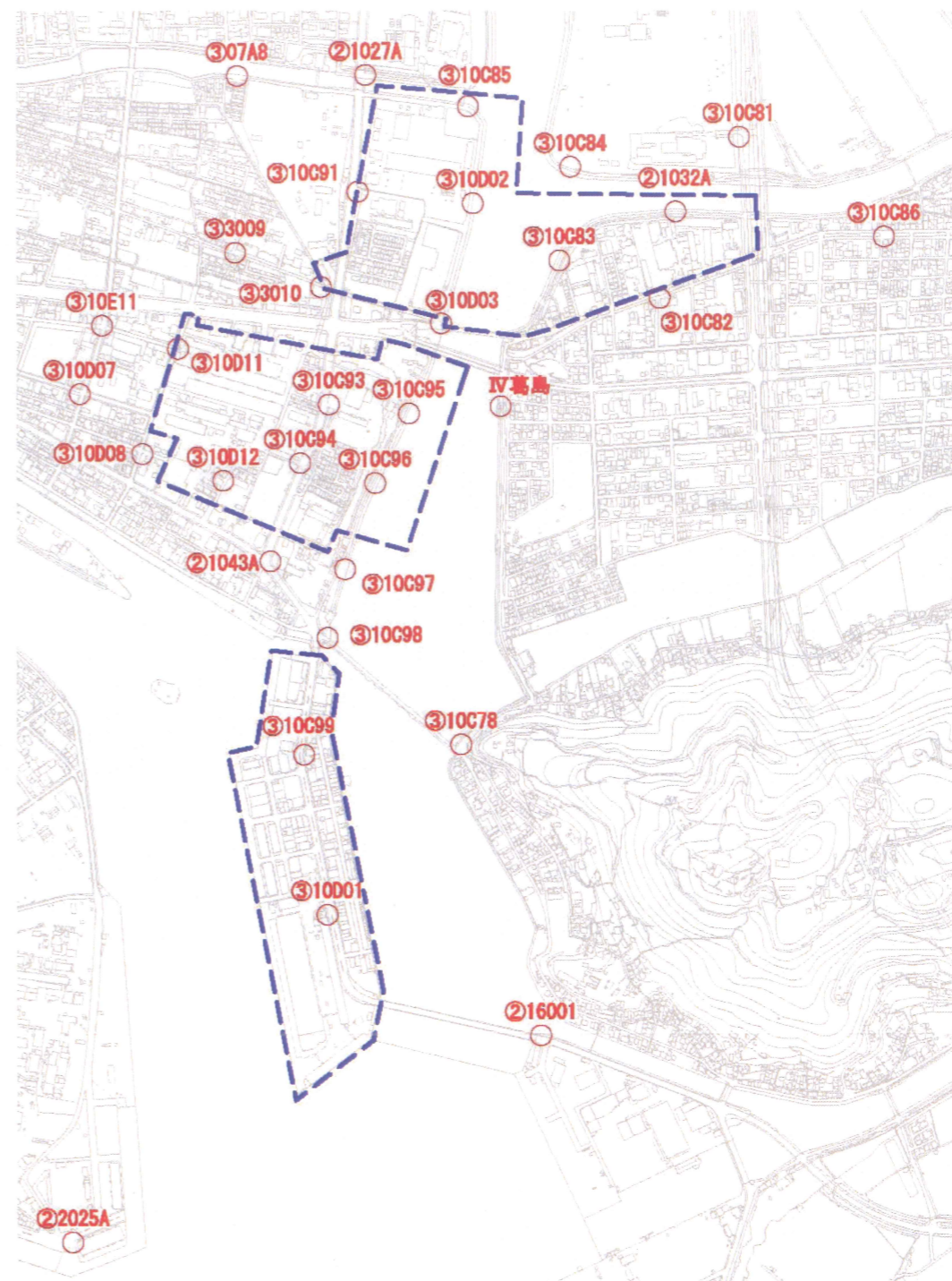
法第14条地図作成作業
高知市棧橋通五丁目、棧橋通六丁目の全部及び棧橋通四丁目、南ノ丸町、百石町三丁目の全部



1班	石村健一	小笠原哲輔	澤村富美子	
2班	片岡靖徳	吉村慶介	今久保満	田邊満夫
3班	濱口輝幸	山崎亮介	彼末浩司	
4班	小田誠司	岡林友紀	高木正充	

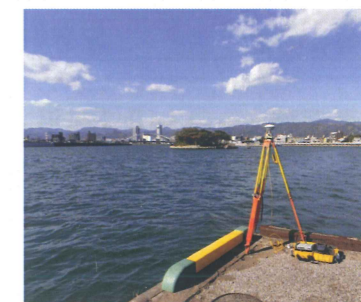
- 調査面積・・・0.662平方キロメートル
- 調査筆数・・・約1,359筆

法第14条地図作成作業(基準点)
高知市葛島一丁目、青柳町、弘化台の全部及び稲荷町、知寄町三丁目、小倉町、東雲町の各一部

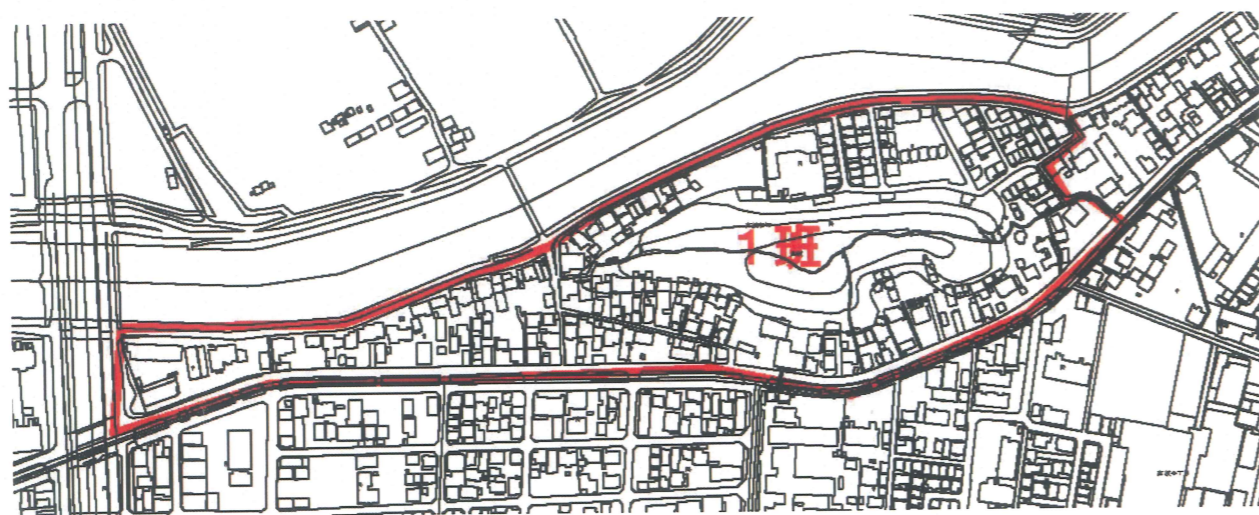


田岡孝浩	岡林友紀	濱口輝幸
------	------	------

- 調査面積・・・0.729平方キロメートル
- 調査筆数・・・約1,250筆



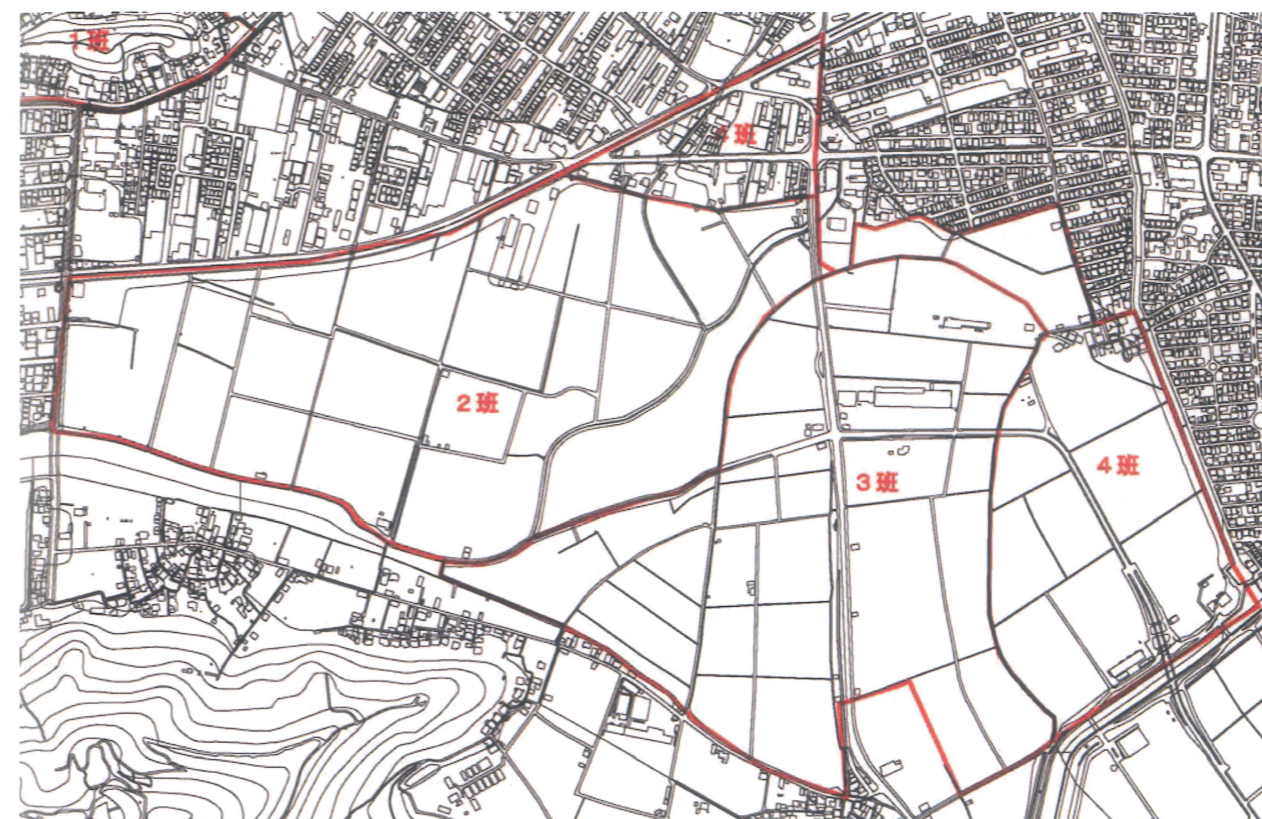
地籍調査作業
高須の一部及び高須本町



1班	田岡拓次	刈谷聡	尾崎真紀
----	------	-----	------

- 調査面積・・・0.124平方キロメートル
- 調査筆数・・・約582筆

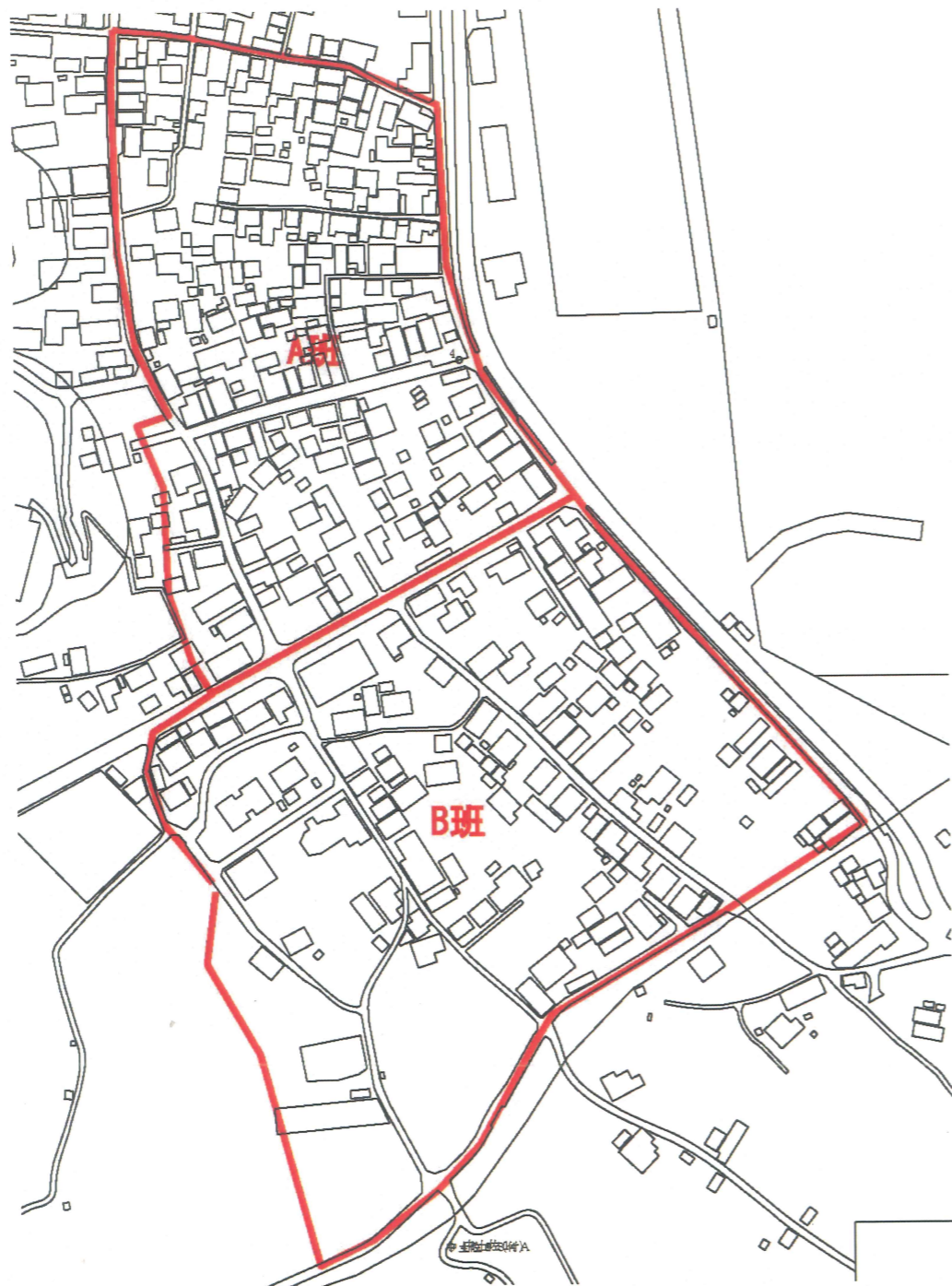
地籍調査作業
高須、高須東町、介良及び屋頭の各一部



2班	野口和秀	小田誠司	山崎亮介	彼末浩司
3班	岡林昌彦	山岡勝	橋秀明	三田旺璃
4班	前田昌利	前田拓司	高木正充	富永武志

- 調査面積・・・1.181平方キロメートル
- 調査筆数・・・約3,190筆

地籍調査作業
上ノ加江の一部



A班	田中豊博	古谷正宏	芝正三	掛川澄人
B班	芝亮省	太田聡	西森裕保	大崎誠

●調査面積・・・0.08平方キロメートル

●調査筆数・・・約527筆



地籍調査に参加して

富永武志

令和4年度の『地籍調査業務』に参加させていただきました 富永武志 と申します。

令和4年7月1日付で協会へ入会后、丁度良いタイミングで地籍調査の班に入る事ができ、屋頭地区での業務に従事させて頂く運びとなりました。

素人同然の経験値の低い私ですが、個性豊かな(?)班員の方々に、時に厳しく、そして時に優しく丁寧にご指導承りながら業務を遂行させて頂きました。

まだまだ残暑の厳しい8月末頃から現地での業務がスタートしたのですが、業務範囲の90%以上が農地(ほぼ田)で、一筆一筆がこの上ない広さ+日陰がほぼほぼ無しという状況の中、慣れない業務を行うのは「しんどかったな～」の一言に尽きますが、日(回)を重ねていく内に、業務内容が把握できてくると共に、立会者様への対応、その他もろもろを考えて行動できるようになっていきました。

しかしながら他の班員の方々は、それ以上何手先までも見据えて行動されているので、そのスピードについていくのがやっとというへろへろな状態で、班員の方々には大変ご迷惑をお掛けした事と思います。

それから、この地籍調査という業務には「地元の推進員さん」も必要不可欠な存在であるという事を認識させられました。立会時に推進員さん達が一言二言言葉を発するだけで、事がスムーズに運ぶという光景が幾度となくありました。また、お人柄も大変良く、業務の合間に公私に渡る色々な話しをさせて頂きました。

最後になりますが、今回この地籍調査という業務の中で得た貴重な経験を今後の私個人の業務(建築含)に生かしていきたいと思っております。また、来年以降この業務に従事させて頂く機会があれば、今回より一段二段上のレベルで業務が遂行できるように精一杯尽力させていただきます。

卵年 生まれのアンケート

- ①支部名 氏名
- ②調査士としての苦労話など印象に残った事、調査士業務に思う事
- ③趣味・興味
- ④好きな食べ物
- ⑤心奪われた人物（好きな芸能人、尊敬する人物、敬愛する調査士等）
- ⑥好きな場所
- ⑦最も幸せな時
- ⑧2023年の抱負



昭和38年（1963年）



- ①高知支部 田邊 満夫
- ②建物の所有者ではない名前前で表題登記が完了してしまった。
建築確認申請の申請人でない人物が真の所有者であったことで危なくトラブルに巻き込まれるところであった。
開業4年目ごろに8ヶ月私の収入が無かった事。
- ③趣味は仕事と言えるようになった。
今はゴルフを楽しめるようにもう少し上手になる事。
GNSS測量機を買ったのでVRSでの単点観測ができるようになる事。
- ④あったかい白米に生卵・各種の岩海、漬物等のセット。
- ⑤尊敬する方は：松下幸之助・安藤百福・高野鎮雄・山口良治とか多数いますが、最も私が尊敬するのは親と妻だな。
師匠の亡き北添方生先生。
入会当時に立会の仕方を見習った亡き中平俊一先生。
- ⑥歳なのか四季を感じる、景色の良いところ。
あと何回四季を感じる事が出来るのかを考える年齢になったのかな。
- ⑦取組んでいた事（目標とか業務等）が終わった時。
- ⑧現在会長をさせて戴いておりますので、会員の皆様に恥ずかしくない会務を進める事。



- ①須崎支部 大崎 誠
- ②苦労した事は、すぐ忘れる事にしてます。
- ③美味しい酒を飲み、美味しい肴を食べる事
- ④
- ⑤新垣結衣。
- ⑥
- ⑦仕事終わりに、おつかれ生（ビール）を飲むとき。
- ⑧健康第一。

昭和50年（1975年）



- ①高知支部 吉村 慶介
- ②本年1月をもって13年目を迎えましたが、経験を積むにつれ関係土地所有者とのコミュニケーションが最も大切だと感じます。その方の言い方や考え方などは様々ですが、これからも「人」との対応に苦労すると思いますが、誠実に対応し業務に勤めたいと思います。
- ③釣り（ジギング：クエを夢見て）
バイク（2019・Husqvarna701sm：ロック聞きながらひい〜は〜）
キャンプ（ペットと共に川・山へ）
ペット（ボストンテリア：すけのすけ&むぎ）
音楽鑑賞（洋楽ロック全般）
- ④メロン
- ⑥海の上、山の上
- ⑦趣味を楽しむ時間
- ⑧初心忘るべからず



- ①高知支部 富永 武志
- ②右も左も分からない状況での「地籍調査」の業務は、大変な事も多々ありましたが、本当に良い経験をさせて頂きました。
- ③野球観戦（現地 & TV）・お笑い鑑賞（劇場 & TV）etc
- ④かいだや「うな重」、サンヒルズ「ハンバーグ」、妻「手作りコロッケ」
- ⑤心奪われた…といえば大袈裟になりますが、学生の頃からスラっとした背の高い女性に惹かれる傾向にあります。（松嶋菜々子・松下奈緒 他）
- ⑥自宅・野球場・映画館・本屋 etc
- ⑦一家団欒時でしょうか。家族皆が笑顔で話しをしている時に「幸せ」を感じます。
- ⑧事務所の経営が軌道に乗りかけている状況（建築の方ですが…）にあるので、2023年は、軌道に乗せる為の土台を今以上にしっかりと築きつつ、併せて調査士業務の方もコツコツ頑張っていきたいと思っております。



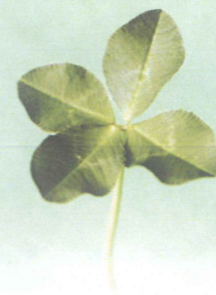
- ①高知支部 長 崎 泰 之
- ②測量時、草木を藪漕ぎしたところ、空調服が何かを吸込み、背中が発疹だらけになった事。
- ③釣り、音楽鑑賞、競馬観戦、電気工事
- ④酒の肴
- ⑤吉田類さん、藤澤和雄 元調教師
- ⑥ひろめ市場
- ⑦仕事をしている時（仕事があること）
- ⑧定時で帰れる日を週3日以上作るための、作業効率化を図りたい。

平成11年（1999年）



- ①東支部 三 田 旺 璃
- ②登録してまだ一年も経っておらず、まだまだ右も左も分かりませんが調査士協会でお世話になっている先生方や父から揉まれながら、業務を行っています。
- ③趣味は、筋トレ、ゴルフ、登山、旅行。どこまでを趣味と言っていいか分かりませんが、やってみたいことや行ってみたい所はたくさんあります。体は一つなのである程度余裕を持って、楽しみたいと思います。
- ④トレーニー（筋トレをしている人のこと）としては、鶏胸肉と言いたところですが、食べるのが好きなので日々美味しそうなご飯屋・居酒屋をGoogle マップで探しては目印ピンを立てています。
- ⑤司法書士・行政書士であった祖父三田哲男、自分の父でもあり土地家屋調査士の先輩でもある三田哲矢。
- ⑥山の山頂、旅先の街、ジム。
- ⑦おいしいご飯を食べたとき、山の山頂に登り切った瞬間、旅先で絶景を写真で撮り映えたとき。
- ⑧今年は、より知識や経験、技術を習得し業務を効率よく行っていけるように頑張っていきたいと思います。まだまだ分からないことばかりなので、人としても調査士としてもご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

特集 ①



高知県立牧野植物園の取り組みと今後の展開

公益財団法人高知県牧野記念財団理事長
高知県立牧野植物園長 川 原 信 夫

私は、長年に渡り、厚生労働省管轄の研究機関におきまして、主として漢方薬の原料となる生薬及び薬用植物に関連するレギュラトリーサイエンス（評価科学）研究等に従事してきました。レギュラトリーサイエンスとは、科学技術の成果を「人と社会」に調和させ、真に役立たせるために必要な独自の科学分野です。そのご縁により2021年4月、公益財団法人高知県牧野記念財団理事長、高知県立牧野植物園長を拝命し、高知に赴任しました。就任後、初めての地で、経験の無い植物園の運営並びに各種関連業務等に悪戦苦闘しながら取り組み、気が付けば瞬く間に2年近くが過ぎようとしています。本特集では、高知県立牧野植物園の取り組みと今後の展開につきまして紹介させていただければと思います。

高知県立牧野植物園は、高知県出身で日本における近代植物分類学の礎を築いた牧野富太郎博士の功績を広く伝えるため1958年に高知市五台山に開設されました。その後、1999年のリニューアルにより、牧野富太郎記念館（本館、展示館）が開館し、新たな一歩を踏み出しました。続いて2004年には、資源植物研究センターが設置され、研究面での充実化が図られるとともに、2008年には、南園に創立50周年記念庭園が開園しました。また、2010年には、大型温室が



1976年（昭和51年）牧野植物園全景

完成し、毎年2月には、趣向を凝らした「ラン展」が開催され、多くのお客様にご好評いただいています。さらに2017年には、高知県による「牧野植物園磨き上げ基本整備構想」が策定され、本構想の下、2019年には、新たな憩いの拠点、次世代養成の拠点としての新園地「こんこん山広場」及び「ふむふむ広場」がオープンし、現在に至っています。

当園のミッションは、1) 植物多様性並びに資源植物等に関わる基礎研究及び有用植物の探索、栽培・増殖、産業化への技術開発等、応用研究による研究型植物園としての運営並びに研究活動を通じた有用植物に関連する県の産業振興への貢献、2) 牧野博士の業績の顕彰並びに植物に関連する教育及び学校向けの体験プログラム等、教育普及活動の推進、3) 県民の憩いの場、観光



1999年（平成11年）全面リニューアル



2010年（平成22年）大型温室完成



新園地（「こんこん山広場」と「ふむふむ広場」）の完成（2019年）

拠点として、観賞植物の植栽・管理、各種資料の展示及び関連イベントの開催等の3項目です。この基本方針に従って研究、教育普及、観賞のいずれの分野においても日本の植物園を先導する総合植物園を目指し、日々活動しています。さらに多彩なガイドツアーの実施等を通じて、来園者がより深く学び、職員と身近に交流できる新しい植物園の魅力創出にも取り組んでいます。また、私の専門分野でもある薬用植物の栽培推進に関しては、高知県内の一部地域で栽培化が進められていますが、産地化には課題も多く、課題解決に向けた試験栽培等、研究を通じた中山間地の産業振興に注力しています。

私が着任した2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大との戦いの中で苦難に満ちた1年でしたが、職員一丸となり、前年度、中断・中止を余儀なくされた春のフラワーショーをはじめとする各種イベントを実施することができました。特に新たな取り組みとして、スマホやタブレットで気軽に植物園のよりディープな魅力を発見できるデジタルガイド「まきのQRガイド」を開始しました。さらに既出の「牧野植物園磨き上げ基本整備構想」における知の拠点として期待される「新研究棟」が着工され、2023年春の完成に向けて工事を進めています。また、2022年は、牧野博士生誕160年の節目の年でもあり、特別企画展として「牧野富太郎展 博士の横顔」並びに「牧野博士と図鑑展」が順次開催されております。

今後も多くの方々に親しんでいただける園地の整備を継続すると共に新研究棟の完成を機に、

植物資源研究を加速させ、高知県の産業振興に資する出口を見据えた応用研究を推進します。同時に、併設されるキッズラボやジョイントラボも活用し、子供たちや他の研究機関との関わり合いの中から自然科学を指向する人材の育成、教育普及にも貢献したいと考えています。

近年、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、家庭内で植物を育成する方々が増え、植物の持つ「癒やし」効果、有用性が認識されつつあります。私は、「植物を通じた社会貢献」を目標に、植物園と共に様々な角度から植物の素晴らしさを探求、発信し、その成果を全国の皆様と共有したいと考えています。ご支援、ご鞭撻を賜れば幸いです。

ご存じのように、2023年春には牧野富太郎博士をモデルとしたNHK朝の連続テレビ小説「らんまん」が放映されます。既に高知県内では知事主導による「連続テレビ小説を生かした博覧会推進協議会」が立ち上がり、来春に向け、県をあげて全国からお客様をお迎えするための体制が整備されつつあり、おもてなし機運が盛り上がってきています。ぜひ「らんまん」をご覧ください、牧野植物園、高知県にお越しください。皆さまの来園をスタッフ一同、心よりお待ちしております。



新研究棟完成予想図



春の南園の風景

特集 ②



ご存知よさこい。そして高知のよさこい祭り。

よさこい祭りと言えばよさこい鳴子踊りですが、私は踊りが得意では無いので踊りたいとは思いません。しかし、もしかしてお祭りが好きなのかも知れません。そんな捻れたスタンスの私が関わってきたよさこい祭りについて、感度の悪いアンテナで拾い集めた情報などを織り交ぜながら「よさこい」を語ります。

時は昭和25年戦後復興最中の高知市、南国高知産業大博覧会の開催を皮切りに新しいよさこい踊りが誕生しました。昭和28年には「みんなが楽しめる永続性のあるお祭りを作りたい」という高知市内の商工業者等が動きます。まず徳島県の阿波踊りを視察し、また、素手では阿波踊りに対抗できないとして雀脅しの鳴子を手に持ち、ジグザクで街頭を流す工夫を加えたよさこい鳴子踊りを創作するなど、現在のよさこい祭りの原型を組み上げました。そして昭和29年夏、阿波踊り開催前で過去40年間に最も雨が降っていないとされる8月10日、11日の二日間に、第1回よさこい祭りが高知市で開催されたそうです。



祭りで使われている楽曲の「よさこい鳴子踊り」は、シングルレコードが昭和40年にリリースされています。そしてその歌い手が都はるみさんであることは有名ですし、よさこいに関わる者(60歳)としてはちょっと自慢したいところです。(蛇足：B面に収録されている「しばてん踊り」の歌声は、また別の大物歌手です。)

2019年時点で「よさこい」と称するイベントが全国で243件開催されているとのこと。また、世界29の国や地域でよさこい祭り(イベント)の開催や現地チームが活動されているそうで、思った以上にワールドワイドに親しまれているOMATSURIスタイルのようです。

私は、よさこい鳴子踊りの魅力の一つは、ルール設定が緩く変化を楽しめるところが特徴だと思っています。主なルールは、楽曲に「よさこい鳴子踊り」のフレーズを入れることと、踊りでは鳴子を持って鳴らすこと以外は自由であるため、創作意欲を刺激して盛り上がるスタイル、とも言えるのではないのでしょうか。

また、昭和50年代から地方車にバンドが乗り込んで演奏するチームが多くなり、演奏のクオリティや歌唱力、また和太鼓を取り入れるなど編曲内容も競われるようになりました。また、それと平行して踊りの振り付けも著名な踊りの師匠やダンスの指導者などが積極的に新しい踊りを創

作するようになりました。

平成に入るとデジタル技術と音響機器の進化により、大音量の中で踊るチームが多くなり、激しい動きの踊りと相まって若者の祭りのイメージが濃くなっていったように思います。

そんな「よさこい」と私との、少し歪んだ関わりは小学生の時に端を発しています。

高知市でよさこい祭りが始まり、都はるみさんの「よさこい鳴子踊り」がリリースされたことも追い風となったことでしょうか、高知県下にはよさこい鳴子踊りを取り入れた夏祭りが開催されるようになった(夏祭りによさこい鳴子踊りが取り入れられた?)ようです。昭和36年生まれの私も小学6年生の時、地域の子供会がよさこい鳴子踊りのチームを作ることになり、集会所に数回集められ練習をしました。子供にとってはまあまあ複雑な動きの踊りをなんとか覚え、いよいよ本番の朝、世話人代表のおじさんが、当時テレビで人気だった時代劇の「子連れ狼」をもじって乳母車を先頭に隊列を組むと言い出しました。そして年長の私等数名の友達が交替で乳母車を押す設定で、一番目が私になりました。しかし、列の先頭なので子供にとっては恥ずかしいのと、ただ歩くだけという役作りも何も無いこともあいまって他の友達は交替しようとせず、結局私は踊らないまま、ただ疲れるだけの長い一日が終わりました、という思い出。大人になっても折に触れて、「あの練習は何だったんだ?」という思いが頭を過ぎります。



二十歳頃、当時通っていた夜間の短期大学でチームを組織してよさこい祭りに参加することになり、その世話人の一人として関わりましたが、友達のバンド仲間と一緒に地方車に乗り込んだので、やはり踊ることはありませんでした。

四十歳頃、所属する青年団体の仲間と本部競演場で踊り子の誘導係もやりました。それまでは二十歳頃の僅かな経験と沿道で覗く程度でしたが、真剣な眼差しで踊る若者や、チームを率いる方達の気迫を間近に見て感じる事が出来ました。

四十歳台半ば、観光誘客を目的に友達と設立していたNPOでもチームを作ることになりましたが、今度は責任者という立場になってしまい、踊りの練習会場には行くものの踊ることは無く、もちろん本番は地方車の前や後ろ、踊り子の最後列、チームが踊り終われば次の競演場(演舞場)へと走るなど、踊るところではありません。

つまり私は、よさこい祭りにどのように関係してもチームの列に入って踊ったことは一度もあ





りません。もちろんそれが不満では無く、小学生の時以外は毎回踊り子やスタッフの笑顔を見て満足感を覚え、心地よい疲れとお酒に酔いしれる(^-^v

高知市のよさこい祭りは地域のお祭りとしての地位を確立しているようですが、歴史も浅いため誰もがよさこいフリークというわけはありません。市内各所の演舞場・競演場周辺は交通規制のため終日大渋滞となりますし、演舞の際の音は遠くまで一日中響きます。30年ほど前までは町中を移動する地方車から、所構わず大音量が流れていましたので苦情も多かったようです。運営側も可能な限りの対策を講じますが、今のスタイルを続ける以上、最後には市民の皆さまのご理解を求めるほか有りません。

一方で、地域の祭りとしての色合いを感じるのは、子供会や町内会のチームが和気藹々とした雰囲気に参加されていることに現れているように思います。また、このところ毎回参加している者としては、観客よりも踊り子が多い祭りではないかと思えるほど街に踊り子があふれ、まさに参加型のイベントだと感じます。

私が責任者を務めるチームは、誰もが参加しやすく楽しむというコンセプトで色々工夫をしています。たとえば、踊りは毎年同じ振り付けでユーチューブを見ながらの自主練習を基本とし、希望する者のみ集まって練習します。また、毎年同じ鳴子、法被、地方車の装飾を使い回すなどしてコストを抑えることにより踊り子の登録料を抑えています。その結果、2歳の幼児から80歳台のおばあちゃんまで、また当日朝に高知入しても問題無いので、踊り子150名の約半数の方が県外から毎年来て頂いています。

高知の夏の風物詩のよさこい祭りは、高知にとって大きな観光資源でもあります。歴史が浅いとは言え、ほぼ全世代に経験者がおり、祭りの各セクションで活躍される方々のほとんどは生まれた時からよさこい祭りが有り、その多くの方は小さい時から祭りに関係しています。私は、そんな祭りがこれからも盛り上がりを絶やさず続いて欲しいと願っている一人です。

令和2年、3年とコロナウイルス感染拡大により中止となり、令和4年は「祭り」ではなく「特別演舞」と銘打って再開を果たしましたが、令和5年は完全復活できると信じています。

※よさこい：木材などを運ぶと時のかけ声の「ヨイショコイ」が原型とか、「夜に來い」が語源とか諸説ありながら、江戸時代から高知に有る言葉のようです。

※地方車：花街のお座敷で舞を踊る立方に対して伴奏をする「地方」が語源とされ、よさこい祭りでは踊り子の前で楽曲を流す車で、音響機器を載せ、各チーム趣向を凝らした装飾のトラック（4トンまでの制限）を指します。

特集 ③

「高知の人気YouTuberが土地家屋調査士になるってよ!？」

広報部長 岡林友紀

高知を拠点に活躍中の人気YouTuber「ちやがまらん」は高知県内の大学で知り合った5人組が2016年に現役大学生YouTuberとしてチャンネルを開設しています。

「ちやがまらん」とは土佐弁で壊れない、ダメにならないなどの意味。高知のホットスポットや流行など様々な分野を日々投稿しており、フォロワーの8割は20代から30代という、若い世代にも人気のYouTuberの皆さんです。



この度、高知県土地家屋調査士会では「ちやがまらん」に土地家屋調査士PRの為のYouTube動画を制作していただきました。

コロナ禍の中、メールでのやり取りから始まり、何度かの電子会議を経て、高知県土地家屋調査士会館にて対面打合せ、そしてロケ開催と何度も入念に打合せを重ねて動画作成していただきました。

現在「ちやがまらん」のメンバーは全員20代で、土地家屋調査士という資格も今まで知らなかったとのことでしたので、まずは土地家屋調査士という仕事を知って貰うことから始めました。フリーランスで仕事ができ、勤務時間に自由がある。同業者同士仲良くもあり、ライバルでもあることなどYouTuberと土地家屋調査士は仕事のスタイルが似ている所もありました。

またYouTubeはエンターテインメント性が無いと観る人が直ぐに飽きてしまうとのことで、お堅い動画にはならないようギャグやコメディも交えながら、けれども常に品位を保持し、公正か





つ誠実な土地家屋調査士という職業に似合う動画となるよう心掛けました（笑）

高知会で1、2を争うイケメン…（というご本人に怒られそうなので）1、2を争うくらい雄弁な高知会の業務部長に主演いただき、土地家屋調査士について分りやすく語って貰っています。また、高知会で現在最年少の若手調査士（この方もイケメン！）にも出演いただいております。ロケで話を聞いているうちに「ちやがまん」の皆さんも土地家屋調査士という職業に興味を沸かしたそうです！

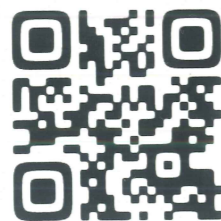
近い将来、土地家屋調査士とYouTuberというダブルワークをされているかも？YouTube動画配信は令和4年10月21日から始まっています。どのような動画となっているかは皆様の目でお確かめください。

詳しくはYouTube「ちやがまん 土地家屋調査士」で検索よろしくお祈いします！



YouTube動画 サムネイル

スマートフォンからは
こちらへ



特集 ④

高知県立宿毛工業高等学校の出前授業

広報部長 岡林友紀



令和4年1月11日(火)3学期の始業式が行われたこの日に高知県土地家屋調査士会初となる土地家屋調査士PRのための出前授業が高知県立宿毛工業高等学校で行われました。

この出前授業が行われるきっかけとなったのは令和3年11月、高知県土地家屋調査士会の広報部員の1人が母校である高知県立宿毛工業高等学校に連合会作成の小冊子「マンガでわかる土地家屋調査士成長物語」を持参したことから始まりました。高知県立宿毛工業高等学校の2年生を対象にマンガ小冊子の配布をお願いするため、学校の先生とお話をした際、生徒に土地家屋調査士という職業も将来の選択肢の一つとして講義を行って欲しいと学校側の方からおっしゃっていただきました。自分たちも出前授業のPRも兼ねて出向いておりましたので、願ってもないお話であり、3学期始業式後の進路指導授業の一環として、同校の建設科2年生を対象に出前授業を行わせていただきました。

高知県立宿毛工業高等学校出身である高知県土地家屋調査士会の広報部員芝亮省会員が講師となって、自己紹介から始まり、土地家屋調査士とはどういった職業かといった仕事内容の説明や、登記と公図の歴史、また土地家屋調査士の社会貢献度にやりがい、そして年収や休暇の取り方など生徒さんが興味を持ちやすい内容も盛り込まれた授業内容でした。専門用語の説明もあって、生徒の皆さんには少し難しい内容もあったかもしれませんが、何か少しでも生徒さんの心に残ってくれたら幸いです。

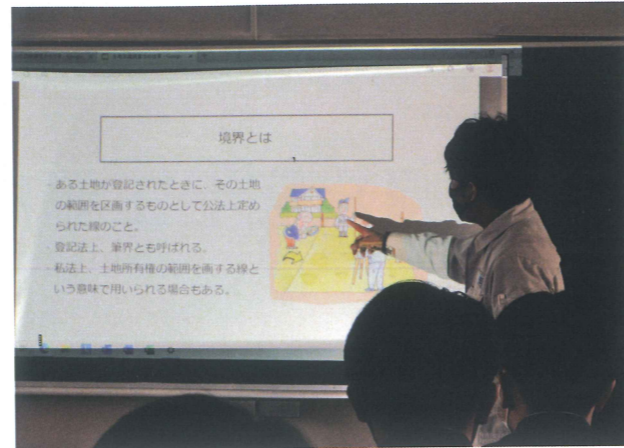
また、建設科の半数近くの生徒さんが既に測量士補の資格を取得していることもあり、土地家屋調査士の資格受験では測量士補の資格保持者は午前の部が免除になり大変有利であることも説明すると、授業後のアンケートでは測量士補に合格しておいて良かったという声も聞かれました。

授業後のアンケートでマンガ小冊子の感想も聞いていたのですが、マンガなので読みやすくて分かりやすかったという回答が多く、中にはマンガを読んで「自分もこの仕事を視野に入れてみ

ようと思った」といった回答もあり、大変嬉しく思ったことです。アンケート結果で今回の授業を行うまでに土地家屋調査士という士業があることを知らなかった方が全体の8割いたことに驚きを隠せませんでした。不動産登記等に関わることはない生徒さんにとっては仕方のないことかもしれません。

今回の出前授業を受けて7割近くの生徒さんからは土地家屋調査士という仕事に興味がある、興味があったとの回答をいただきました。学校の先生からも早速、次年度でも同じような出前授業を行って欲しいとご依頼もいただきました。

授業時間は70分程でしたが、静かに真面目に授業を受けてくれた生徒の皆さんに心から感謝申し上げます。また、始業式後という大変お忙しい貴重なお時間を高知県土地家屋調査士会の出前授業のために分けていただき、ご協力をいただいた高知県立宿毛工業高等学校の先生方にも心よりお礼申し上げます。



高知県立宿毛工業高等学校 出前授業アンケート結果

日時：令和4年1月11日(火) AM 10:25～ 高知県立宿毛工業高等学校 (講師芝亮省広報部員)

問1. 講師の先生のお話や説明はわかりやすかったですか？

1 よくわかった	12/35	34%	4 少しむずかしかった	1/35	1%
2 だいたいわかった	23/35	65%	5 むずかしかった	0/35	0%
3 どちらともいえない	0/35	0%			

問2. また機会があれば、土地家屋調査士の授業を受けてみたいですか？

1 受けたい	26/35	75%
2 受けたくない	9/35	25%

問3. 今日の授業を行うまでに、知っていた士業があれば、教えてください。

弁護士	32/35	91%	海事代理人	0/35	0%
司法書士	14/35	40%	税理士	23/35	66%
行政書士	11/35	31%	社会保険労務士	5/35	14%
土地家屋調査士	7/35	20%	不動産鑑定士	10/35	29%
弁理士	4/35	11%			

問4. 今回の授業時間についてどうでしたか？

1 長い	2/35	5%	3 ちょうどいい	23/35	66%
2 短い	0/35	0%	4 わからない	10/35	29%

問5. 土地家屋調査士に興味ある？興味わいた？

1 ある	2/35	5%	4 わいた	10/35	29%
2 少しある	10/35	29%	5 わからない	10/35	29%
3 ない	3/35	8%			

問6. 次回また土地家屋調査士の授業があれば受けてみたいですか？

1 受けたい	8/35	23%	3 わからない	11/35	31%
2 受けたくない	1/35	1%	4 他の内容も聞いてみたい	15/35	45%

問7. 今日の授業を通して、印象に残った言葉(キーワード)をあげてください。

- ・年収300万～1000万以上・5年目で合格・休日はいつでも取れる・境界線・やった分だけお金になる
- ・相続・財産・合格率8～9%・土地家屋調査士・国家試験・自営業・土地家屋調査士試験の合格率
- ・一筆地・やりがい・無くならない仕事・社会貢献・財産を守る・社会保険労務士・弁護士・不動産
- ・公図・財産を守る・相続登記しないと建物をどうにもできない・災害後も町の復旧に役立つ
- ・県に100人ほどしかいない・年収・トラブルを防ぐ・分筆・AIにはできない仕事

問8. 今日の授業についての感想や土地家屋調査士に対する質問等を何でもお聞かせください。

- ・給料が思った以上に良くて驚きました。また試験を受けるとなった時に測量士補を取得していれば、午前の部が免除されると聞いて測量士補に合格しといて良かったなと思いました。
- ・簡潔にまとめてくれていて、とても聞きやすく且つ分かりやすかった。
- ・今学校で習っているものが将来のために活かすことができることが分かったので、今後も頑張っていきたい。土地家屋調査士は知らなかったけど授業を通して知ることができたので良かった。貴重な体験をありがとうございました。
- ・初めて聞いた言葉だったけど、今日の授業を受け興味をわきました。
- ・何のコネもない人がなっても大丈夫なのか心配になりました。
- ・あまり聞いたことのない仕事で最初は分からなかったけど、説明を聞いて住宅図面だったり測量だったり、僕達、建設に関わる仕事で土地の権利など境界など様々な事が分かりました。
- ・土地家屋調査士を今日初めて聞いて、どんな仕事なのか知った中で必ず必要な仕事だと分かった。なくてはならない家や財産をより安心して住んでもらう、守ってもらうために働く土地家屋調査士は凄いなと思った。
- ・昨年ひいじいちゃんの家が壊されていたのが、名義交換をして父に決定したというのをどういう仕組みか理解できた。色々な資料等を見て話し合いも必要だということを知った。
- ・大きな責任を背負う仕事なだけあって、年収もすごいし、やりがいを感じられる仕事だという事が分かった。
- ・土地家屋調査士の試験は難しそうだったけど、少し興味をわいた。現場に行ったり設計もしたりで両立が難しそうだった。
- ・仕事の内容やなぜ境界を測らないといけないのか、歴史を踏まえて説明していたので良かった。
- ・説明が分かりやすかった。意外と年収が高くていいなと思いました。
- ・測量を習って使うのは事務所や公務員だけと思っていたけど、土地家屋調査士という新たな選択があることを知れた。自分たちで休日を決めていけるのはメリットである事が分かった。
- ・どういった事をするのかをよく分かりやすく教えていただけて、よく分かりました。

特集⑤ お宝写真館

濱口 輝幸



アオリイカ(足摺海洋館 SATOUMI)



フンボルトペンギン
(島根県立しまね海洋館アクアス)



ユキヒョウ(札幌市円山動物園)



尾崎 真紀 弱いのか? 強いのか? どっちや!?



太田 聡 息子、将来を考える

西森 裕保



Trick or Treat!!
今年のハロウィンは
ブルベロスになりました。



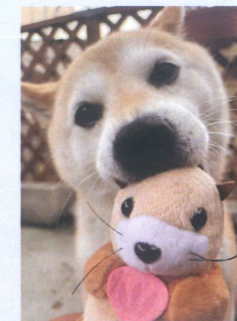
雨二モ負ケズ台風二
モ負ケズ
台風が上陸しても愛
犬のお散歩に休みは
ありません。



初雪
生まれて初めての積雪
に喜ぶ愛犬です。



春のお散歩
春に桜並木をお散歩
して喜んでいる愛犬
です。



似ている?
ラッコのぬいぐるみと
愛犬です。



暖かくしておやすみ
なさい
我が家では冬になる
とよく見られる光景
です。



食欲の秋
秋空の下で食べるオヤ
ツは格別です。



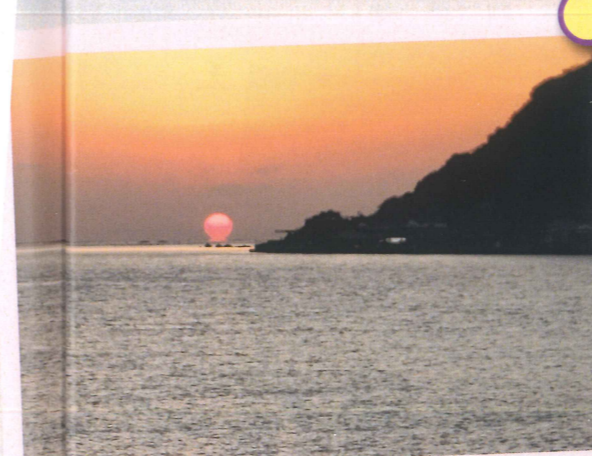
楽しいお出かけ
車で遠出して沢山遊
んで満足した顔です。



自宅警備犬
いつも自宅警備を頑
張ってくれています。



眠たそう
自宅警備のお仕事も
時には休憩が必要で
す。



岡林 友紀

宿毛のだるま夕日



ネコザメ

特集



小田 誠司 地籍調査とコスモス



岡村 悟 佐田の沈下橋



佐野 巧也 俺の宝物



田邊 満夫
すみません1本隠してました。



芝 亮省
四万十の鮎

高知県土地家屋調査士会ゴルフ大会

広報部 岡村 悟

近年、盛り上がりを見せているゴルフ大会。幡多支部主催により令和4年9月17日(土)に黒潮町の土佐ユートピアカントリークラブにて開催されました。

2年連続でソフトボール大会も開催中止となり、さらに当日は台風接近により開催が危ぶまれていましたが、皆様の日ごろの行いが良く何とか最後まで出来ました。

ゴルフ大会は、なんと参加者全員に景品があたるという稀にみる大会となりました。台風の影響で時折雨や風に悩まされましたが楽しくラウンドできました。

幡多支部の田邊さん、ゴルフしないのに受付やカートの運転など最後まで付き合ってくれた西尾さん、コンペの段取りなど誠にありがとうございました。さらには懇親会まで構えていただき有意義な一日となりました。



幡多支部ゴルフ大会成績表 土佐ユートピアカントリークラブ

順位	氏名	スコア	ハンデ	ネットスコア
優勝	岡村 悟	51・50 101	30.0	71.0
準優勝	田中 朋子	42・41 83	10.8	72.2
3	谷相 恒行	52・57 109	33.6	75.4
4	田邊 満夫	49・47 96	20.4	75.6
5	田中 周	42・45 87	10.8	76.2
6	太田 聡	51・54 105	28.8	76.2
7	山本 亮	53・46 99	22.8	76.2
8	江口 揚亮	53・43 96	19.2	76.8
9	芝 亮省	55・47 102	24.0	78.0
10	松坂 諭志	60・61 121	42.0	79.0
11	田邊 豊	52・44 96	16.8	79.2
12	筒井 伸光	54・46 100	19.2	80.8
13	有光 壮太	56・52 108	25.2	82.8

※ダブルペリア

行事日程

令和5年1月13日	土佐士業交流会 研修会及び賀詞交歓会
令和5年1月15日	土佐士業交流会 合同無料相談会
令和5年1月18日～1月19日	第2回全国会長会議・新年賀詞交歓会
令和5年3月17日	四国ブロック協議会 令和4年度 第3回理事会
令和5年5月26日	令和5年度 定時総会
令和5年7月7日～7月8日	四国ブロック協議会 令和5年度 定時総会
令和5年7月14日～7月16日	第18回土地家屋調査士特別研修（基礎研修）
令和5年8月18日～8月19日	第18回土地家屋調査士特別研修（集合研修）
8月20日	第18回土地家屋調査士特別研修（総合講義）
令和5年9月2日	第18回土地家屋調査士特別研修（考査）

事務局だより

【入会者】

令和4年1月20日	富永 武志	（高知支部）
令和4年2月21日	長崎 泰之	（高知支部）
令和4年3月10日	三田 旺璃	（東支部）

【退会者】

令和4年1月26日	山本 克彦	（幡多支部） 廃業
令和4年3月30日	藤原 浩寿	（高知支部） 死亡
令和4年3月31日	佐竹 晃夫	（高知支部） 廃業
令和4年9月27日	東川 正弘	（高知支部） 廃業
令和4年12月4日	谷 弘美	（幡多支部） 死亡
令和4年12月19日	森沢 俊夫	（高知支部） 廃業

【会員名簿の変更】

彼末 浩司	郵便番号	新：780-8040
	事務所所在地	新：高知市神田1735番地10
	電話番号	新：088 (833) 7785
	FAX番号	新：088 (879) 1757
岡村 悟	郵便番号	新：780-0822
	事務所所在地	新：高知市はりまや町3丁目13番21号
公文 康三	郵便番号	新：780-0062
	事務所所在地	新：高知市新本町1丁目6番15号
掛川 澄人	郵便番号	新：786-0027
	事務所所在地	新：高岡郡四万十町東大奈路331番地135

前田 昌利	郵便番号	新：780-0964
	事務所所在地	新：高知市横内144番地25
清遠 史生	郵便番号	新：781-5103
	事務所所在地	新：高知市大津乙1944番地12
	電話番号	新：088 (802) 5449
江口 揚亮	郵便番号	新：780-0901
	事務所所在地	新：高知市上町2丁目6-23
高知土地家屋調査士法人 従たる事務所	郵便番号	旧：781-5206
		新：781-5332
	事務所所在地	旧：香南市野市町みどり野2丁目39番地
		新：香南市香我美町徳王子1717番地1

【会員名簿の追加】

富永 武志	事務所所在地	〒781-2120
		吾川郡いの町枝川2302-2
	電話番号	090 (9454) 8936
長崎 泰之	事務所所在地	〒780-0041
		高知市入明町7番16号
	電話番号	090 (1326) 0350
三田 旺璃	事務所所在地	〒782-0033
		香美市土佐山田町旭町1丁目3番17号
	電話番号	0887 (53) 2890



Trimble S7
測量、イメージング、3Dスキャンを統合した、多機能トータルステーション

1セット[17:45:30]	-85069.750
2セット[17:46:07]	-85069.750
セット間較差	0.000
平均値	0.000



Trimble R12i
+登録多角点観測オプション
手軽な斜め観測と便利なオプションでGNSS観測を誰でも簡単に確実に



Trimble X12
高速・高精度・高解像度の画像取得、3Dスキャンが誰でも簡単に

GNSS (GNSS-TS)	TS
GNSS	球面距離
	45.322

Trimble が提案する最新ソリューションで 日々の測量作業を革新

いつでも、どこでも、新しい測量体験を。

お問い合わせ先

株式会社 TSC

〒761-0312 香川県高松市東山崎町 73-10
TEL: 087-847-6448 FAX: 087-847-6708
http://tsc-tp.com/

株式会社 ニコン・トリムブル

<https://www.nikon-trimble.co.jp/>

TOPCON

SOKKIA

3D計測で現地測量の効率化を実現



1台2役!
**Laser Scanner Total Station
GTL-1200**

レーザースキャナー搭載型 トータルステーションが進化!

- ・トータルステーション測量とレーザースキャナー計測が1台で可能
- ・点群密度が従来機の2倍(スーパーファインモード搭載)
- ・Wi-Fiモジュール搭載
- ・オンボードプログラムMAGNET Field搭載
- ・自動対回観測に対応




Smooth Drive Control™
搭載!

Smooth Drive Control™搭載!
新たなモーター制御技術でスムーズなプリズム追尾を実現!



世界最小・最軽量マルチGNSS受信機!*



- 世界最速***
新制御超音波モーターダイレクトドライブ
- 世界最小***
高い機動性を誇る超コンパクトなボディ
- 世界最軽量***
モータードライブTSながら5.7kgを実現

**Intelligence X-ellence Station
iX-1200/600 series**

*モータードライブトータルステーションとして、2020年8月当社調べ



**高い測位性能と圧倒的な機動力が、
測量作業を変える!**

- ・全ての衛星に対応
- ・超コンパクト強靱ボディ
- ・LongRange データコミュニケーション
- ・10時間駆動バッテリー内蔵

**GNSS受信機
GCM3**

**QZSS
対応**

**BeiDou
対応**

*当社調べアンテナ・受信機一体型2周波マルチGNSS測量機として。
*中華人民共和国が運用する衛星測位システム。GGBDタイプは標準、GGDタイプはオプション。

株式会社 ジツタ
<http://www.jitsuta.co.jp>

高知支店
〒780-0870 高知市本町4丁目1番5号
TEL: 088-822-0330
FAX: 088-822-0334

松山本店: 松山市中村2丁目8番1号
徳島支店: 徳島市山城西2丁目77番地
高松支店: 高松市松縄町1018番地2
名古屋営業所: 名古屋市中区東3丁目24番2号

株式会社 **トプコンソキア** ポジショニングジャパン
ソキアブランド 測量機器コールセンター ☎ 0120-78-4100 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・トプコン休業日は除く)

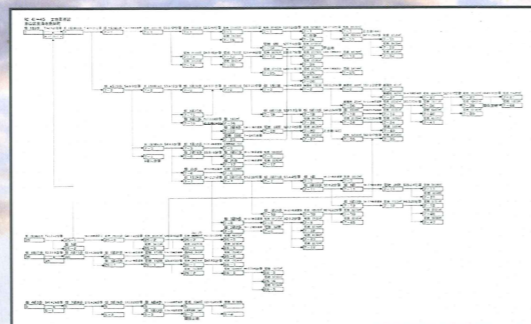
大阪オフィス 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-5-15 進徳第六ビル 2階
TEL: 06-6396-8730 FAX: 06-6396-8733

表示登記申請システム

大好評! 土地変遷(沿革)図

- 明治初期～現在までの **土地の変遷** を迎えます!
- **分合筆、地目、地積、所有者** を自由に登録!
- 登記情報を取り込み、**図を自動で作成!**

取得した登記情報をもとに土地の沿革図(分筆や合筆によって変更された情報)を作成します。閉鎖した情報(書面の登記情報)を追加する場合にも入力補助を用意しているので、迷うことなく入力、簡単に作成できます。

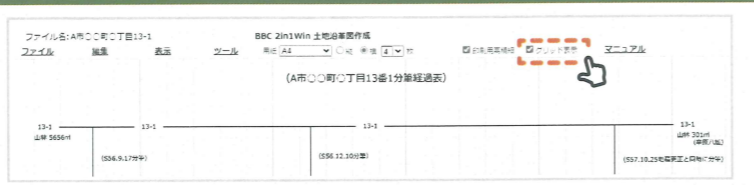


土地変遷(沿革)図の便利な機能をご紹介します!

グリッド表示

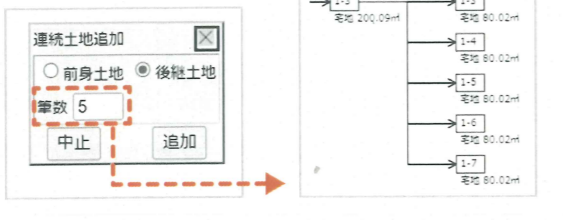
沿革図の画面にグリッド線を表示します。各地番の位置調整の際にご利用ください。

- ・年代ごとに簡単にきれいに並べられます!
- ・整列などの操作が可能に!

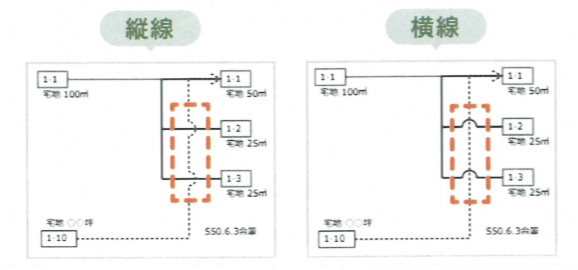


連続土地の追加

筆数を設定するだけで、自動で連番で土地を追加します。



飛び地の場合でも分かりやすく表現できます



- CADシステム - 請求・入金システム

オプション

電子帳簿保存法
改正に対応

期間限定キャンペーン実施中! 2023年3/31まで

タイプA	タイプB	タイプC	タイプD	タイプE
表示登記 + CAD + 請求入金 申請システム 決済処理システム	表示登記 + CAD 申請システム	表示登記申請システム	表示登記 + 請求入金 申請システム 決済処理システム	請求入金 決済処理システム
一括購入 5年リース	一括購入 5年リース	一括購入 5年リース	一括購入 5年リース	一括購入
¥458,000 月額¥8,400	¥398,000 月額¥7,300	¥218,000 月額¥4,100	¥278,000 月額¥5,200	¥60,000

表記はすべてスタンドアロン版の価格です。ネットワーク版をご希望の場合は別途お問い合わせください。全て税抜価格となります。

bbs 株式会社ビービーシー
表示登記申請システム 検索

TEL. 03-5909-5772

東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー 6階

東京本社 大阪 名古屋 福岡 札幌 仙台 高松 広島

ケガや病気による
入院・通院に
備えておきたいな。

団体総合生活補償保険が
お役に立ちます!

登記誤りを起こして
しまい、顧客から
損害賠償請求を
受けてしまった。

土地家屋調査士賠償責任保険が
お役に立ちます!

土地家屋調査士を
取り巻く
さまざまなリスク
その時
お役に立ちます!



所得補償保険がお役に立ちます!

測量機器総合保険
(動産総合保険)がお役に立ちます!

ケガや病気で入院。
その間の収入を
どうしよう。。

測量中にうっかり
測量機器を破損
してしまった。

※このチラシは保険の特徴を説明したものです。詳細は商品パンフレットをご覧ください。

【お問合わせ先】

<代理店・扱者> 有限会社 桐栄サービス TEL.03(5282)5166

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1丁目2番10号 土地家屋調査士会館6階

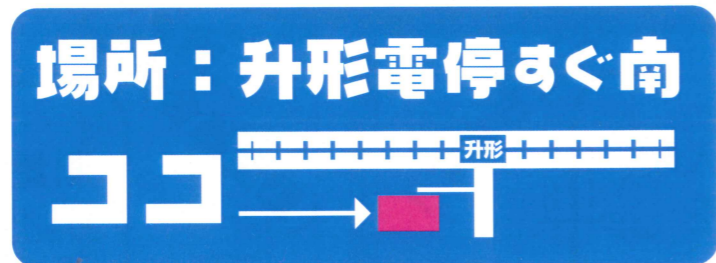
<引受保険会社> 三井住友海上火災保険株式会社 TEL.03(3259)6692

〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台3-11-1 広域法人部営業第一課

B21-902312 使用期限: 2023年4月1日

貸会議室 あります。

<http://nishimura-p.co.jp>



有限会社 西村 膳写堂
〒780-0901 高知県高知市上町1-6-4
TEL 088-822-0492 FAX 088-825-1888

編集後記

年魚

冬に河口で生まれ海に移動し春から夏にかけて川を遡上しながら成長し、また秋に産卵のため、河口に戻り一生を終える魚のことであり、年魚の読み方はアユです。

会報誌の内容に取り組みだす時期は、毎年、丁度秋の終わりに差し掛かる頃で、鮎の友釣りをする私にとっては川が禁漁になり空虚感に苛まれる季節です。

最近時間が過ぎるのがとても早く感じるようになりました。日々、仕事に追われる中で気付けば月日が流れている、そんな日々です。ふと忘れ物をしたことに気が振り返っても、背に押し寄せる時間の波は後戻りをするにすら許してくれません。時に対し粗雑になることを受け入れざるを得ない、そんな時代です。

私たちは一年という、あまりに短い周期の中で沢山のことを完結させようとし過ぎるのかも知れません。

500万年続き発展してきた人類は、未だにその物事の善悪ですら見出すことすら出来ず混沌を極める世界の中で過去の歴史の過ちを繰り返そうとしています。現代に生きる私達はその無限のループを断ち切ることが出来るのでしょうか。せめてその円周を出来るだけ大きくすることが出来れば、繰り返される過ちを遅らすことが出来るのかもしれない。

そんな浅はかな、理想や幻想をわがままに吐き出し自己満足の執筆を完結させる。

編集後記に許されたわがままを利用して。

広報部 芝 亮 省



アレチアズビトハギの実が服に付いたときは、ウェットティッシュで拭くと簡単に取れます。

(提供 濱口輝幸会員)

高知県土地家屋調査士会会報 NO. 56

会報委員

委員長 小田 誠司

委員 太田 聡・尾崎 真紀

芝 亮省・岡村 悟

発行所

高知市越前町2丁目7番11号

高知県土地家屋調査士会

TEL (088) 825-3132

FAX (088) 873-3018

印刷所

有限会社 西村膳写堂

高知市上町一丁目6-4

TEL (088) 822-0492

発行人 田邊 満夫

編集責任者 岡林 友紀



高知県土地家屋調査士会